

「これまで見たことがない・来たことがない」はアテにならない

→ 道内はどこでもヒグマの生息地＆通り道

1 ヒグマが市街地やその付近に出没するのは何故？



- 冬眠に向けて脂肪を蓄えたい
→ 山の実りが少ないと食べ物を求めて人里近くに侵入
- 強いオスを避けたい弱いオスと母子グマ ※特に夏に多い
→ 人里近くに避難してきた（人を盾に強いオスから離れたい）
- ただ通り過ぎている（山から山に移動したいだけ）
→ 山の合間を縫うように道路があるため、目撃されてしまう

※上記は一例であり、原因を全て網羅しているわけではありません

ただし、

繰り返し出没

出沒理由に関係なく、運良く食べ物にありつけると、そこに定着してしまう

2 ヒグマを市街地に呼び寄せない＆居着かせないためには

- 家庭菜園はヒグマのレストラン ※田畑も同様
→ 山の林縁部に家庭菜園がある場合は、電気柵でしっかり自衛
→ 「食べない」ものも残さず速やかに収穫
- 近隣でヒグマの出没情報がある
→ 干し魚、漬物、梅酒等の食べ物、コンポストを屋外に置いたままにしない
- ゴミあさりを覚えたヒグマは行動がより大胆・過激になりやすい
→ ゴミ出しは収集当日の朝にすることを徹底
→ 生ゴミだけでなく、ペットボトル・缶も注意（しっかり洗うこと！）
→ においを低減させるため、生ゴミは凍らせるなどの対策を



3 もしもヒグマに出遭ってしまったら

ヒグマに出遭ったら「おはしも」に気をつける！

- お**：大きな声を出さない
→ ヒグマが驚いたり興奮するような行動は事故のもと。怖くても冷静に。
- は**：走って逃げない
→ 犬と同じく、走るものは追いかけたくなる習性があるため、急な動きは御法度。
- し**：「しんだふり」はしない
→ ヒグマは動物の亡骸を食べることもある生き物。不用意に倒れ込まないこと。
- も**：物を投げつけない
→ 「大きな声を出さない」と同じ。ヒグマが攻撃的になってしまうかも。